

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森若葉養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 学部行事 ）		
	単元(題材)名	いろいろな人とおはなししよう		
	単元(題材)の目標	家族や担任以外の人とコミュニケーションをとる		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	登校できる日が少なく、担任が家庭を訪問して学習している自立活動主の児童である。顔色、視線、表情の変化や体の動きを見て家族や担任は体調や機嫌などを読み取り、児童もかわりに対して笑顔を見せるなどコミュニケーションがとれているが、発語は難しい。 手の動きはまだはっきりとしたサインとして確立していないが、筋緊張とは別の意図的な動きがあるように思われる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad (2台)、kubi、Bluetooth スピーカー		
	使用したアプリケーションの名称	Google Classroom Google Meet kubi Connect	  	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部の一員として学部行事へ参加することで、他の児童とのコミュニケーションのきっかけをつくる。 ・家庭から学校の授業へ参加する機会をつくり、学習活動の幅を広げる。 ・家族が学校内で行われる活動を知ることができる機会を増やす。 		
活用の状況と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・A L T との学習やお楽しみ会などの学部行事に kubi で参加し、体調に合わせて見学をするところから始めた。 ・kubi はキャスター付きのワゴンに乗せ、接続がうまくいかないときは、学校側の教員が移動させた。接続に問題がないときは、家庭から kubi を操作して上下左右に iPad を動かすことができる。 ・Google Meet 使用時の音量調整はコントロールセンターではなく、本体横のスイッチで行った。家庭側の iPad は Bluetooth スピーカーを使用すると、音声聞き取りやすかった。 ・2月の学部行事では、こま作り、こま回し大会があり、教師がつくったこまを回して見せる活動を別日に家庭で個別に行った。当日のこま回し大会では Google Meet で会場とやりとりしながら代わりをお願いしたり表彰されたりという活動に参加することができた。カメラ越しにあいさつをしたり話かけてくれたりする児童も出てきた。 ・Google Meet での接続は小学部の児童と教職員全員が参加している Classroom から接続することで、ミーティングコードのやりとりをする手間が省けた。 ・Google Meet に一人だけで参加していると、一定時間が過ぎると通話を終了してしまうので、校内で参加の手順を手伝ってくれる人が必要である。 			